

氏 名	渡壁 晃		専 攻	社会学専攻
			指導教授	難波 功士 教授
研究領域	歴史社会学、計量社会学、戦争社会学、記憶の社会学			
研究題目	原爆の社会的記憶の歴史社会学			
所属学会	日本社会学会、関西社会学会、戦争社会学研究会、数理社会学会、社会学研究会、観光学術学会			
学 歴 (学部入学から)	2014年4月 関西学院大学社会学部社会学科 入学 2018年3月 関西学院大学社会学部社会学科 卒業 2018年4月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程 入学 2020年3月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程 修了 2020年4月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程 入学			
教 歴 担当授業科目	2015年度 関西学院大学社会学部 LA (担当科目：基礎演習) 2016年度～2017年度 関西学院大学社会学部 LA (担当科目：基礎演習 B) 2017年度 関西学院大学社会学部 LA (担当科目：比較社会演習 B) 2019年度 関西学院大学社会学部 TA (担当科目：社会調査実習) 2022年度 関西学院大学社会学部非常勤講師 (担当科目：基礎演習 A、基礎演習 B)			
研 究 業 績				
著書、論文、翻訳、研究報告等題名	発表年月	掲載誌または発表場所	備 考	
<b>【論文】</b> 「〈原爆〉の記憶の継承における『当事者』」  「広島における原爆関連行事の通時的変化 (一)」  「広島・長崎平和宣言からみた平和意識の変容」  「広島における原爆関連行事の通時的変化 (二)」  「広島における原爆関連行事の通時的変化 (三)」  <b>【研究ノート】</b> 「ドイツ・ベルリンの「虐殺されたヨーロッパのユダヤ人のための記念碑」に関する新聞報道の量的変化：冷戦後のドイツにおけるホロコースト」  (次ページへ)	2019年3月  2021年3月  2021年9月  2021年10月  2022年3月  2021年3月	『KG 社会学批評』第8号、27-37頁。  『関西学院大学社会学部紀要』第136号、87-101頁。  『社会学評論』286号、118-134頁。  『関西学院大学社会学部紀要』第137号、113-132頁。  『関西学院大学社会学部紀要』第138号、113-133頁。  『関西学院大学先端社会研究所紀要』第18号、85-91頁。	書評論文 単著 査読有  単著 査読なし  単著 査読有  単著 査読なし  単著 査読なし  単著 査読なし	

<p>【学位論文】 「広島はヒロシマにどのように向き合ってきたのか——ヒロシマに関する行事と『生者—死者』の関係性について」</p>	<p>2018年1月</p>	<p>関西学院大学社会学部 卒業論文</p>	<p>「社会学部優秀論文賞(安田賞)」(関西学院大学社会学部)受賞</p>
<p>「ヒロシマに関する行事の歴史社会学——社会における『平和』の通時的変化を中心に」</p>	<p>2020年1月</p>	<p>関西学院大学大学院社会学研究科 修士論文</p>	
<p>【研究報告】 「ダークツーリズム論の課題と可能性」</p>	<p>2017年7月</p>	<p>観光学会 第6回大会 (神戸山手大学)</p>	<p>ポスター発表(単独) 「学部学生発表奨励賞」(観光学会)受賞</p>
<p>「広島はヒロシマにどのように向き合ってきたのか——ヒロシマに関する行事と『生者—死者』の関係性について」</p>	<p>2018年6月</p>	<p>第69回関西社会学会大会 (松山大学)</p>	<p>口頭発表(単独) 「関西社会学会大会奨励賞」(関西社会学会)受賞</p>
<p>Recalling “catastrophe”: An analysis of the events relating to the Atomic Bomb of Hiroshima</p>	<p>2018年6月</p>	<p>2nd Postgraduate Conference in Japanese Studies (Kwansei Gakuin University)</p>	<p>ポスター発表(単独)</p>
<p>「平和宣言の計量テキスト分析——広島長崎両市の市長声明にみる『平和』の通時的変容」</p>	<p>2020年7月</p>	<p>第11回戦争社会学研究会大会 (オンライン)</p>	<p>口頭発表(単独) 新型コロナウイルスの影響で4月の大会が中止となった代替措置として例会で報告(業績としては大会発表扱い)</p>
<p>(次ページへ)</p>			

「被爆地における平和意識の変容——広島・長崎平和宣言の計量テキスト分析」	2020年9月	第69回数理社会学会大会（オンライン）	ポスター発表（単独）
「平和式典におけることばの計量テキスト分析——ヒロシマ・ナガサキからみた戦後日本の『平和』意識の変容」	2020年10月	第71回関西社会学会大会（オンライン）	口頭発表（単独）
「平和宣言の計量的分析——戦後の広島・長崎における平和意識」	2020年10月	第93回日本社会学会大会（オンライン）	口頭発表（単独）
「広島における『先輩慰霊の形成と展開——原爆関連慰霊行事の通時的分析」	2022年4月	第13回戦争社会学研究会大会（オンライン）	口頭発表（単独）
「原水禁運動から平和教育、そして芸術・スポーツへ——広島における原爆に関する行事の社会史」	2022年5月	第73回関西社会学会大会（オンライン）	口頭発表（単独）
<p>【報告書】</p> <p>『『同化』から『応化』へ——沖縄・本土関係の歴史の変容」</p>	2017年3月	渡壁晃・塚本顕成編，2017，『「多民族共生」社会について～フィールドワークを通じた日台比較～』関西学院大学社会学部。	単著 平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業2016年度比較社会演習A報告書
「近代国家と戦争の記憶——第2次世界大戦におけるホロコーストを事例に」	2020年3月	『関西学院大学先端社会研究所紀要』第17号、112-113頁。	単著 2019年度先端社会研究所リサーチコンペ中間報告